

施工説明書

お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも確認いただける場所に保管してください。
製品についてご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口（下記）」までお問い合わせください。

梱包内容

- ノズル……………1台
- ノズル固定用ナット…1個
- ノズル固定用パッキン……………1個
- ノズル固定用座金…1個
- タンクケース……………1台
- タッピンねじ（呼び6×40）……………4個
- プラグ……………4個
- クランプ（チューブ用）……………2個
- クランプ（配線用）…2個
- コネクターケース組品
・十字穴付タッピンねじ（呼び3×8）2個、
・コネクターケース1個、
・ファスナー1枚……………1セット
- コイルチューブ……………1個
- 鍵……………2個
- 取扱説明書……………1枚
- 施工説明書……………本紙

目次

	ページ
安全上のご注意 ……………	1
施工の前に ……………	2
・取り付けに必要な工具	
設置方法 ……………	3
・取り付け手順	
お問い合わせ窓口 ……………	表紙

お問い合わせ窓口 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
サラヤ株式会社 TEL.06-6797-2525 URL.http://www.saraya.com/

電話受付:平日（土日および祝祭日、弊社休日を除く）9:00～18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
 ここには、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

図形説明	説明	例
	警告 誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	行為を禁止する記号です。例:
	注意 誤った取り扱いをしたときに軽傷、または家屋・家財などの損害に結びつくもの	行為を強制、指示する記号です。例:

設置上の注意

警告



湿気やほこりの多い場所に設置しない。
 火災や感電、故障の原因になります。



設置・移設は、必ずお買い求めの販売店または専門業者に依頼する。
 設置上の不備は、火災や感電、水漏れの原因になります。



油やガスの漏れる恐れのある場所に設置しない。
 引火による火災の原因になります。



本紙で禁止・指示した規格以外での設置は行わない。
 事故やケガ、故障の原因になります。



結露が生じる場所に設置しない。
 発火や感電、故障、劣化の原因になります。



丈夫で凹凸のない壁面に確実に設置する。
 設置上の不備は、落下によるケガや故障の原因になります。

設置上の注意

注意



火気の近く、火花が出る器具の近くに設置しない。
 故障や変形の原因になります。



配管接続部は確実に取り付ける。
 設置上の不備は薬液漏れの原因になります。



蛍光灯などの照明が近い場所や、強い光が当たる場所に設置しない。
 誤作動の原因になります。



直射日光の当たる場所、高温になる場所に設置しない。
 故障や変形、誤作動の原因になります。

取り付けには専門の技術が必要なので、お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご依頼ください。(取付工事は有料です)

- 取り付け場所については、取り付け上の注意事項に従いお客様の同意を得てから取り付けてください。
- 電源はAC100V (50/60Hz)、最大消費電力は7Wです。これに適した電源コンセントを使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。
- 電源コードの長さは約1.8mです。電源コンセントはこれに適した位置で、なおかつ水のかからない位置に設けてください。
- 開梱時や取り付け時に製品を傷付けたり汚したりしないでください。誤作動や作動不良の原因になります。また、汚れたままにしておくと、付着痕や腐食などの原因になります。
- 電気製品のため、絶対に水をかけないでください。
- 製品は本紙にもとづき、必ず正しい向きに取り付けてください。
- 施工完了後はお客様に本紙の内容をよくご説明ください。

取り付けに必要な工具

- 電動ドリル
- ドリル刃 (φ6、φ2.5)
- プラスドライバー
- 大型プラスドライバー
- プライヤー
- モンキレンチ (呼び375)
- 水平器
- メジャー、ものさしなど

取り付け手順

1 設置場所の確認

“取り付けに適した丈夫な壁であること” “使用の妨げにならない十分なスペースがあること”を確認します。

注意

凹凸面には取り付けないでください。

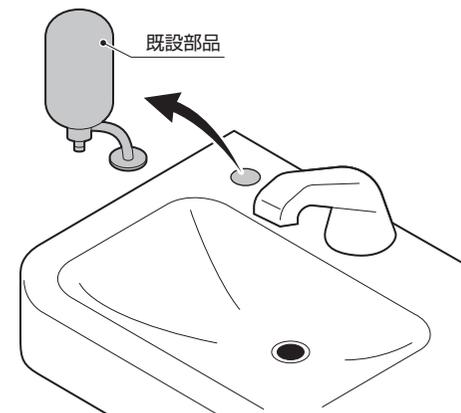
2 ノズルの取り付け

【1】既設部品の取り外し

既設の不要部品を取り外します。

注意

- 手洗シンクは取り外さないでください。
- 手洗シンクやその他必要な部分は、分解したり、壊したりしないように注意してください。

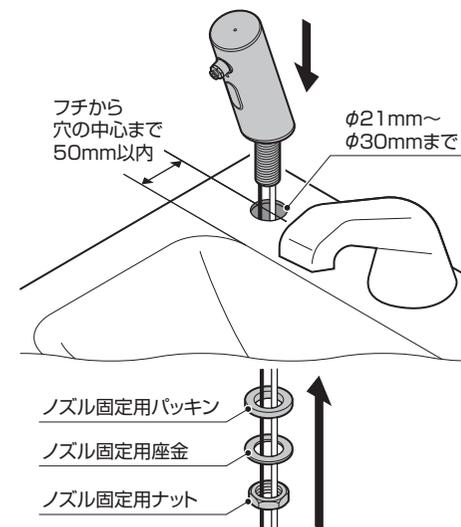


【2】ノズルの取り付け

- ①手洗いシンクの取り付け穴にチューブ、手指センサーハーネスを通し、ボルト部分を差し込みます。
- ②ノズル固定用パッキンとノズル固定用座金を通し、ノズル固定用ナットで固定します。

注意

φ21mm～φ30mmまでの取り付け穴に取り付けてください。また、ノズルから吐出される薬液がシンク内に落ちるように、取り付け穴の中心が、シンクのフチから50mm以内にある場所に取り付けてください。

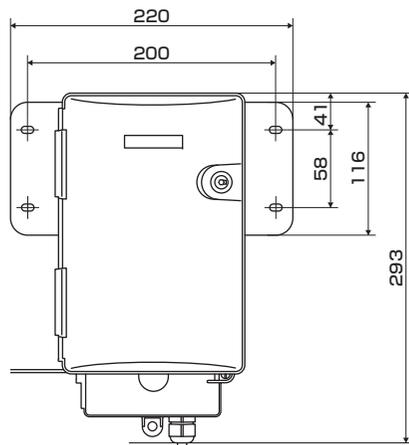


3 タンクケースの取り付け

①寸法図を参考に、タンクケースの取り付け位置を決定します。

注意

ノズルから伸びる薬液チューブが届く範囲で、かつ可能な限りノズルの近くに取り付けてください。

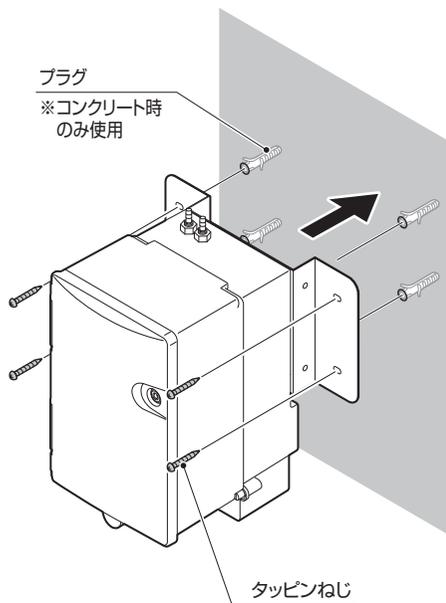


《寸法図》

②タンクケースに合わせて壁面に穴をあけ、付属のねじセット（タッピンねじ4個、プラグ4個）でタンクケースを固定します。

注意

- 穴をあける場所に、配管・配線が通っていないことを確認してください。
- 切粉はきれいに取り除いてください。
- 壁がコンクリートの場合
 - ①壁にφ6mmの穴（プラグが埋まる深さ）をあけます。
 - ②穴にプラグを打ち込み、タッピンねじで固定します。
- 壁が木製の場合
 - ①壁にφ2.5mmの案内穴をあけます。
 - ②タッピンねじで固定します。
- 石膏ボードなど、壁の強度が弱い場合
 - ①補強材で補強します。
 - ②タッピンねじ、またはボードに適したねじで固定します。



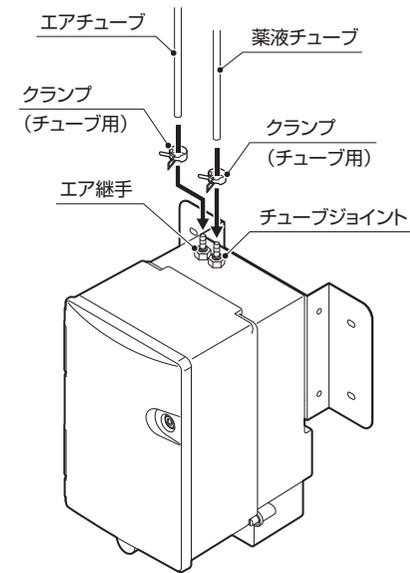
4 薬液チューブの接続

①薬液チューブにクランプ（チューブ用）を通してチューブジョイントに接続し、クランプを固定します。

②エアチューブにクランプ（チューブ用）を通してエア継手に接続し、クランプを固定します。

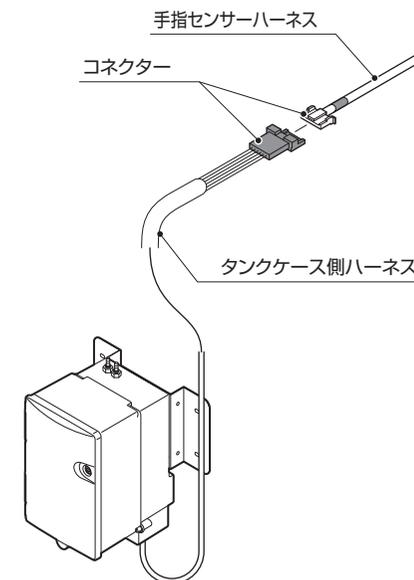
注意

- チューブジョイント、エア継手内に異物が混入していないことを確認してください。
- 各チューブは適切な長さに切り、調節しながら接続してください。チューブは直角に切断してください。
- チューブは、断面が変形していない状態で、キズなどがない状態にしてください。

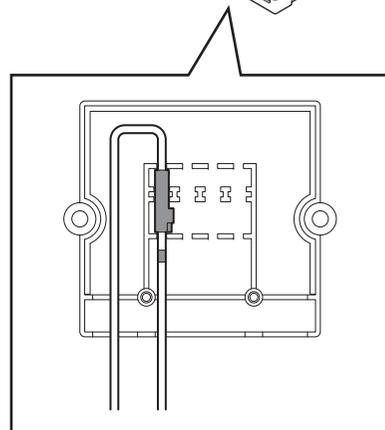
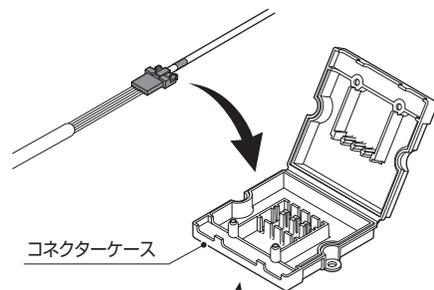


5 センサーハーネスの接続

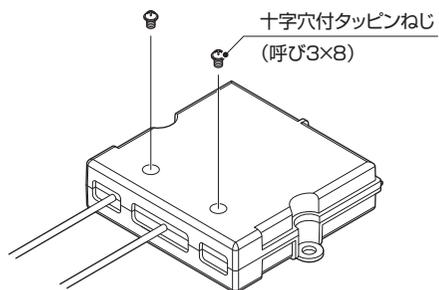
①タンクケース側ハーネスのコネクターと、手指センサーハーネスのコネクターを接続します。



②コネクタケースにコネクタを収納します。



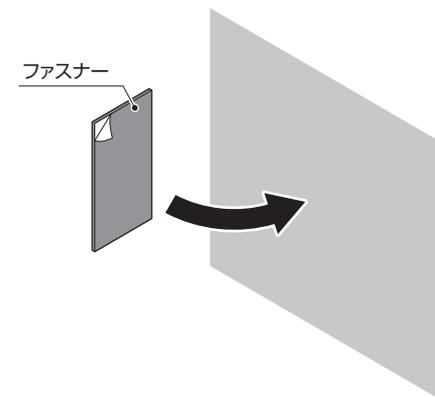
③コネクタケースを閉じ、十字穴付タッピンねじ(呼び3×8)で固定します。



④ファスナーの剥離紙をはがして、平面で水のかからない場所に貼り付けます。

注意

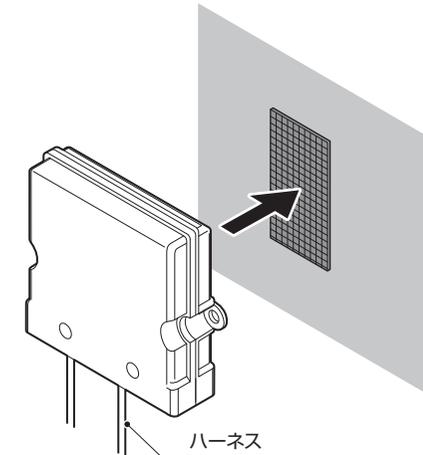
- ファスナーを貼り付ける部分は、あらかじめ汚れなどをきれいに取り除いてください。
- コネクタケース側のファスナーに対して、十字に貼り付けると、設置許容範囲を広く確保できます。



⑤ファスナーにコネクタケースを取り付けます。

注意

ハーネスを下に向けて取り付けてください。



⑥クランプ(配線用)を取り付け、配線を固定します。

注意

コイルチューブは必要に応じて使用してください。

